

# 教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第6号 H29.12月発行

## 自身の学修テーマに基づく 連携協力校実習を終えて……

教職大学院の長期実習の1つである、連携協力校実習を10月～11月に実施しました。この連携協力校実習は、自身の学修テーマに基づいて実習校を決定し、実習を行います。本実習では、学校の実践に責任を持って関わりながら、自らの学修テーマを多角的に捉え、また、学校実践現場の文脈や多様性を自覚し、学校実践現場との協働で行為と評価をしながら省察することを目的としています。本年度は、津市教育委員会、松阪市教育委員会、県立白山高等学校にお世話になり、学校経営力開発コース(現職教員)の学生10名を受け入れていただきました。5月に、本実習の説明会を実施し、ご参加いただいた実習校の管理職の方と実習生(院生)及び指導教員との顔合わせ会をさせていただきました。その際に、実習校の特色や力を入れている取組等について伺い、実習の日程等について相談させていただきました。その後、実習生は「実習計画書」を作成。9月29日には連携協力校実習オリエンテーションを実施しました。実習中は、指導教員も実習校を訪問し、実習の様子を見させていただきました。いずれの学校でも、実習に大変ご協力いただき、実習生にとってとても学びやすい環境を整えていただきました。実習を終えた院生に話を聞くと、「とても多くのことを学べた実習だった。」「実習校の先生方に大変よくしていただいた。」等の感想が聞かれました。このように、院生にとって充実した実習とすることができましたのも、各教育委員会、各実習校の皆様方のお陰です。ありがとうございました。

### 【今回お世話になった実習校】

津市: 敬和小学校、高茶屋小学校、白塚小学校、西が丘小学校、南が丘小学校、東橋内中学校、  
一身田中学校、みさとの丘学園  
松阪市: 三雲中学校 県立白山高等学校

## 連携協力校実習の感想紹介

実習では、教科授業の参観だけでなく、校内研修会、授業づくりの検討会等にも加えていただき、学ぶ機会をいただきました。また、子どもたちの1日の活動にも加えていただきました。今までの勤務経験では知ることができなかった場面に多く出逢い、その都度わからないことを、校長先生をはじめ、先生方、職員の方々に質問をさせていただいておりました。快く教えていただき、「そういうことか!」「そこまで観ておられるのか!」と先生方のご指導に驚くばかりでした。また、同時に今まで自分の至らなかつたところについて反省することも多々ありました。校長先生には、学校づくり・カリキュラムマネジメントについてもご教授いただき、自分の学修テーマを深めることに繋がりました。17日間の実習中、先生も子どもたちも、毎日笑顔がいっぱいでした。子どもたちがじっくり仲間と学び合っていることの原点は、安心感であると思いました。安心しているからこそ、笑顔で過ごしているのだと感じました。忙しさの中にあっても、子どもたちのことを観て、笑顔で受けとめておられる先生方は素敵だなと思いました。(学校経営力開発コース・小宮 康子)

連携協力校での実習の目的は、クリス・アーギリスが提唱したダブル・ループ学習によるところの、「私の行動の前提となる私の枠組み」に光を当て、自らの前提になっている教育観や授業観を見つめ直すこととしました。連携協力校としてお世話になったのは、県内の高等学校です。授業やホームルームを見学させていただく中で、これまでの私は自分の枠組みの中からはしか生徒を見ず、自分の価値観や判断を生徒に押しつけていたのではないかと考える機会となりました。省察・内省・リフレクションなど、自らを省みることの重要性は、省察的实践家である教師だけでなく、これからの未来を生きる生徒にも求められる力でもあります。今回、実習校でそのことに専念できたことは私にとって有意義なものであり、この学びを土台に、今後の教師活動に活かしていきます。最後になりましたが、私を快く迎え入れていただいた実習先の先生方、温かく接してくれた生徒たちに心から感謝とお礼を申し上げます。(学校経営力開発コース・角谷 道生)

10日間、津市の小学校で実習をさせていただきました。児童の皆さんは、元気で明るく、休み時間には、高学年の児童が熱心に委員会の仕事に取り組んでいたりと、児童会行事の「大縄大会」に向けて熱心に練習したりしている姿が印象的でした。地域行事にも参加させていただき、貴重な体験をすることが出来ました。実習中は、全クラスの授業を参観させていただき、見通しをもたせるための「めあて」の提示や、興味関心をもたせる「学習課題の工夫」、「ペア・グループ学習での学び」など「授業づくり」について多くのことを学ばせていただきました。また、どんな時でも児童に真剣に向き合い、管理職の先生を中心に連携体制が整っていて、全職員で学校をより良くしていこうとする姿がすばらしかったです。実習校の「研究主題」は自身の「学修テーマ」につながる内容であり、校長先生、研修担当の先生から、今までの研修の取組について話を聞かせていただき、今後の研究につながる学びをすることができました。今後は、連携校実習で学んだことを勤務校に持ち帰り、還元していきたいと思っております。充実した10日間を過ごすことができ、感謝しております。

(学校経営力開発コース・牧野 江津子)

## 第2回中間報告会 実り多き長期実習

12月7日に、教職大学院の中間報告会を行いました。今回は、学校経営力開発コース(現職教員学生)が、9月～11月に実施した東紀州実習と連携校実習をとおして学んだことのほか、それらが自身の学修テーマ、さらには来年度より始まる現任校実習にどのように接続するかということなどがメインで扱われました。発表は、2つの長期実習での目的・ねらい、実習での取組・実践、全体の考察と今後の課題について、パワーポイントやレジュメを使って行われました。それぞれの学修テーマについては、今後、「地域の教育課題解決演習」(授業)においてさらに深めていきます。



## 教職大学院主催の講演会・ワークショップ°を開催!

「プリント学習」にさよなら!

～すぐに使える教材・教具と授業づくり～

講師：村上公也 キミヤーズ代表 現在、京都市内の特別支援学校、支援学級への指導・助言を行う。著書『キミヤーズの教材教具 知的好奇心を引き出す』

講師：森脇健夫 三重大学教職大学院教授

京都から村上先生の教え子たちと、キミヤーズの先生方が来てくれます!村上先生と子どもたちが生で魅せるライブ授業があります!この1日で目からウロコがポロポロ落ちる!

この機会をお見逃しなく。

**参加費無料**

**1/21 (日) 10:00～16:00** 三重大学教育学部講義室 (1号館2F)

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院) 広報担当

☎ 059-231-9319 (学務担当)

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp> (教職大学院専用 HP)

✉ [info-mkd@edu.mie-u.ac.jp](mailto:info-mkd@edu.mie-u.ac.jp)